

【株式会社 八光開発コンサルタント】

2013 - 2018  
Made in  
MIYAZAKI

## 最先端の技術を導入・活用することが 新たな領域への突破口に

従来の測量業務の作業効率や安全性などを改善するために導入した3Dレーザースキャナー。  
もたらしたのは課題解決以上のものでした。



代表取締役

星原 英樹  
ほしはら ひでき

新しいことでも「やればできる!」

平 成10年をピークに  
公共投資の減少が  
続き、大きな転換期を迎  
えている測量設計業界。

宮崎県においては一般  
競争入札が導入されて以  
来、低コストによる受注  
を余儀なくされています。  
さらに若年層の建設業離れ  
が進み、若手技術者の確保  
も難しくなっています。

同社においても状況は  
同様で、数々の課題を抱え  
ていました。その課題を  
解決するために導入したの  
が最新の測量機器である  
3Dレーザースキャナーです。

「**3D**」の機械によって  
コスト低減、工  
程短縮、作業効率・図面  
精度・安全性の向上など  
あらゆる面が改善されま  
した。

加えて、従来の測量機  
器は技術の習得までに3

5年かかっていたので  
すが、この機械であれば  
誰でも簡単に扱うことが  
できるので女性や若者が  
オペレーターとして活躍  
できるんです。若い世代  
の増強も課題にしていた  
のでこの点も非常に大き  
かったですね」

3Dスキャナーによる  
成果はそれだけでは終わ  
りません。遺跡調査やト  
ンネルや橋梁などの点検  
調査、さらには砂防堰堤  
や急傾斜地を測量して防  
災に生かす取り組みなど、  
新たな分野への参入にも  
つながっていったのです。

「最先端の技術をさまざま  
まな形で活用できたこと  
で、新しいことでもやれ  
ばできるんだという空気が  
社内に醸成されました。  
今後もチャレンジ精神を  
もってさらに社会に貢献  
していきたいと思っています」

ものづくり  
補助金活用  
ココが  
ポイント!



従来の測量には最低  
3人のスタッフが必要  
でした。



## 作業効率が8倍に

### 現場での作業効率が激変

一箇所の現場を測量するのに120分かかっていたのが  
3Dレーザースキャナーによって15分で済むようになり  
作業効率が大幅に高まりました。



ボタン一つで水平方向に360°、鉛直方向に300°を  
自動計測。しかも一人で作業ができます。



新たに導入したドローン。山中など空からしかわからない  
場所の測量が可能になりました。



### ものづくりへの想い

当社が行っている測量や点検調査などは日が  
当たることではないのかもしれませんが、もの  
づくりのためには絶対に欠かせないものです。  
これからも縁の下の力持ちとして社会の安全を  
しっかりと支えていきます。

### 今後の展望

この機械を導入して3Dに触れたことが、その  
後の3Dプリンターやドローンによるレーザ  
ー測量の導入につながりました。この先も新たな  
技術や機械を積極的に取り入れて他社との差別  
化を図っていききたいですね。



### case 01 技術サービス業 株式会社 八光開発コンサルタント

設立: 1978年  
代表取締役: 星原 英樹  
資本金: 1,000万円 従業員: 50名  
事業内容: 建設コンサルタント、  
補償コンサルタント、測量、地質調査

〒885-0004  
宮崎県都城市都北町5511番地2  
TEL.0986-38-4047  
FAX.0986-38-4504  
<https://www.hakko-kaiatsu.com/>

